

Libella りべら

持続可能な未来をみんなで作る

vol.167
2025.02

りべら
vol.167
2025.02



特集 にしよどオリンピック


- ・特設会場A: 大野川緑陰道路
(マラソン、自転車競技、競歩)
- ・特設会場B: 淀川河川敷
(サッカー、ラグビー、ウォータースポーツ、野球)
- ・特設会場C: 街なか
(モルック、クリケット、Nスポ)
- ・パラリンピック
(ポッチャクラブ、タンデム自転車)

〈表紙の作品〉
2024年11月2-4日大阪市西淀川区・大野川緑陰道路にて展示された「ニシヨドパビリオン」。
作家: PALLALINK (PALLA / 井上ヒデコ / 杉原尚樹) + 城村握 撮影: 菅原広司
主催: 大阪市西淀川区役所 (令和6年度西淀川区アート事業) 運営: あおぞら財団


発行所: 公益財団法人公害地域再生センター (あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4階

あおぞらフォトギャラリー




 地域対抗ジモト自慢バトル「ちいきいと」をもと歌島橋バスターミナルで開催! お題にそったジモト写真を披露して淀川区、東淀川区、西淀川区代表たちが熱く語りました。主催: 株式会社藤 workspace (2024.11.2)



 「野外音楽フェスティバルin矢倉緑地」に、のべ822人が来場し、好天のもと、音楽祭を満喫しました。主催: にしよど音楽祭実行委員会 (2024.11.4)



 にしよど防災ロゲイニングを開催! 地図をもとに116分の制限時間内に西淀川区内のさまざまな防災スポットを歩いてまわりながら、楽しく、健康的に防災を学びました。(2024.12.7)

 **おもしろいわ**
西淀川

SNSで発信中!


西淀川の初日の出!
ビルの間から顔を出す
太陽が、新しい一年の希望を照らしてくれています。


#2025年スタート
#初日の出
#ビルの間から


#西淀川の風景
#朝焼け

(@handmade_nick)
西淀川区魅力発信
サポーター事業と連携



1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

【あおぞらビル】

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコパ」
会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前: 1,000円 / 午後: 1,300円 / 夜間: 1,300円 / 全日: 3,000円

【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)
西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。(環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設)

開館日 月曜日と金曜日(10:00~17:00) / 要事前電話予約
※いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

【会員・寄附募集】

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

● **賛助会員** 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。
【年会費】個人: 年一口 5,000円、学生: 年一口 2,000円、
法人・団体: 年一口 10,000円

● **会費・寄附の振込先**
【郵便振替口座】記号・番号: 00960-9-124893 / 加入者名: あおぞら財団
【ゆうちょ銀行】金融コード: 9900 / 店番: 099 / 預金種目: 当座 / 店名: 0九九店 / 番号: 0124893 / 名義: あおぞら財団
【三菱UFJ銀行】歌島橋支店 / 普通 / 372858 / 財) 公害地域再生センター
これまでご案内しておりました、三菱UFJ銀行と口座が変わっておりますので、ご注意ください。

りべら (Libella) はラテン語で「トンボ」と「自由」の意味をかけたものです。あおぞら財団はトンボが飛び交うまちの再生を願って活動しています。

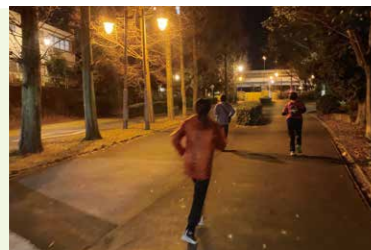
大野川緑陰道路

区内を縦断する大野川緑陰道路は日夜、区民のスポーツスタジアムです。歌島2丁目から百島2丁目まで約3.8km。歩行者・自転車専用道路なので、ウォーキングからジョギング、サイクリングまで安心して楽しめます。途中には鉄棒や足踏み広場などの健康遊具までそろっています。

一ロメモ

種目 マラソン

大野川緑陰道路は、健康のためにジョギングする人も沢山おられます。大野川緑陰道路(約3.8km)、そこから更に足をのびして淀川沿いに水門を經由して矢倉緑地まで行くと約1.8kmで、合計すると約5.6km。7周半ちょっと走るとフルマラソン42.195kmの特設会場になり、沿道はもちろん、橋の上、水上からも応援可能です。ちなみに、現在のマラソン世界記録はエリウド・キプチョゲ選手(ケニヤ、2022年9月25日)が持つ2時間1分9秒、時速にすると20.5km/h(1km走るのに約2分56秒のペース)。大野川緑陰道路(3.8km)を約11分7秒で走り抜けるスピードです。



毎年2月には緑陰道路を使って区民駅伝大会が開催され、スタート・ゴール地点となる隣接する西淀公園を含めて、熱い戦いが繰り上げられます。駅伝本番に向けて、選手となる方々の練習場所としても活用されています。



毎年2月に大野川緑陰道路で開催される「西淀川区民駅伝大会」入賞を目指して練習する「にしよどおやこ劇場」の皆さん

種目 自転車競技

サイクリングロードでもある、大野川緑陰道路は自転車での利用も多く、区内の他の自転車道(西島川左岸自転車歩行者専用道となにわ自転車道)につながっています。

パリ・オリンピックの自転車競技は、ロードレース、トラックレース、マウンテンバイク、BMX、BMXフリースタイルがあり、合計22種目が開催されました。

パリ五輪のロードレースは総距離男子273km、女子158kmでしたので、矢倉緑地(淀川河口)から淀川・宇治川経由で廻り琵琶湖(近江大橋)までを往復すれば女子158kmのコースになります。ちなみに、優勝したのは、アメリカのクリステン・フォークナーでタイムは3時間59分23秒でした。



今回の特集は、そんな「スポーツっていいなあ」という余韻に浸りながら、西淀川区内で「どんなスポーツやってるんだらうか?」との疑問が生まれ、「もし西淀川区でオリンピックがあったらどうなる?」との妄想の結果生まれました。西淀川区内でスポーツを調べると沢山出てくるのですが、今回は、担当者(藤江)の独断と偏見でお送りしますこと予めご了承ください。[●]藤

2024年7月26日午後7時半(日本時間27日午前2時半)から約4時間にわたってパリ・オリンピックの開会式がセーヌ川沿いを中心にパリの街を舞台に開催され、次々と繰り広げられるパフォーマンス・パレードに世界中が驚き、熱い拍手を送った。その後17日間に渡って、32競技、329種目が実施され、スポーツを通じた感動のドラマが世界を幸せにした。



マップは概略図です。



特集

にしよどオリンピック

種目 競歩

朝や夕方にウォーキングの人たちが行き交う大野川緑陰道路。ウォーキングを競技化した競歩は「常にどちらかの足を地面に接し、着地した足は膝を曲げずにまっすぐ伸ばすこと」というのがルール。世界陸上・五輪の正式種目。五輪としては1906年から実施されており、歴史のある五輪でも伝統的な競技です。競歩の世界記録は14.8km/h(参照:2024年10月に川野将虎選手が35km競歩で出した2時間21分47秒)なので、大野川緑陰道路(3.8km)をコースに見立てれば15分24秒でゴールできます。





種目 サッカー

ある週末、河川敷でサッカーを楽しむ人達に話を聞いてみました。

「ミャンマー出身の友達・知人が集まって週末にサッカーを楽しんでいる。それぞれ働いている所は別だけど、みんなサッカーが好きだから楽しいよ!」とのこと。

また、ベトナムの人達がサッカー大会をする時もあります。さすが世界中で人気のスポーツです。



種目 ラグビー

河川敷姫島エリアでは、ラグビースクールの子も週末に練習している姿も見られます(参照:PO、淀川ジュニアスポーツスクールホワイトナイツ)。ちなみに2024年パリ五輪では、7人制ラグビーが実施され、男女各12チームが出場し、男子はフランス、女子はニュージーランドが金メダルを獲得しました。



淀川河川敷

西淀川区の東側は、大阪を育んだ「母なる川・淀川」があり、淀川右岸に河川敷が続いている(一部立入が難しい区間もある)。ここで行われている様々なスポーツを紹介しよう。

一
ロ
メ
モ

西淀川区の矢倉緑地先端部には淀川右岸河口0.0kmの基準点があり、そこから75.1km遡ると、日本最大の湖「琵琶湖」に辿り着きます。西淀川区に面している淀川河川敷は身近な自然空間・オープンスペースとして様々な利用がされています。一人一人がマナーを守って皆で楽しく使いましょう!



種目 ウォータースポーツ

(ウインドサーフィン、カイトサーフィン、ウイングフォイルなど)

淀川堤防沿いの道を通る時に、水上にカラフルな帆が行き交うのを見たことは無いでしょうか?

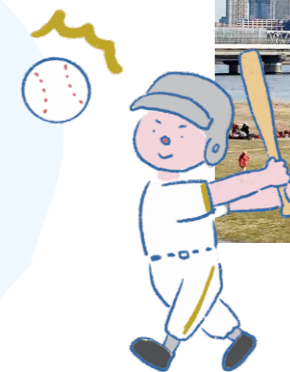
淀川河口から梅田方面に向かって吹く西風を受けて、水上を進むウインドサーフィン、カイト(凧)を用いるカイトボード、ウイングフォイル、SUPなどのウォータースポーツを楽しんでいます。淀川河口部では、地元だけに限らず他地域から来られており、他にもカヌーやボートに乗っている人もいます。

乗っておられる方に何うと「ここは良い風が吹く」とのことです!



種目 野球

河川敷でよくみかけるスポーツと言えば、野球。週末になると様々なチームのユニフォーム姿の選手たちが練習しています。野球は、東京五輪2020では開催都市枠として開催され、パリ五輪では開催されませんでした。2028年ロサンゼルス五輪では開催都市提案の追加種目になることが決まっています。未来のオリンピック選手が練習しているかも!





特集

種目 モルック

モルックは、フィンランドで開発されたスポーツで、木の棒（モルック）を投げて木のピン（スキットル）を倒して、得点が先に50点ぴったりになったチームが勝ちという競技です。西淀川・淀川健康友の会では、2023年3月から、区内9カ所の公園や施設等で月1~4回、モルックを楽しむ会を開催しています。コロナ禍で行動制限されていたので外で楽しみながら体を使って皆でできることを探していて、モルックに出会ったそうです。2024年11月には、西淀公園でモルック交流会を開催し、多くの団体が参加しました。ルールはシンプルなので、初めての人も子どもも楽しめます。狙い通りに投げた時は思わず声を上げてしまいます！街なかでみかけたら、チャレンジしてみてください。



Event information

- 北之町公園(西淀川区歌島) 第2・4(水) 10~11時
- 野里西公園(西淀川区野里) 第1・3(月) 10~11時

※他にも区内の公園で定期的を実施しています。
開催場所・日程などのお問い合わせは柏花センター (TEL06-6472-6453)まで、お気軽にどうぞ。

街なか

西淀川区内では公園や学校体育館、スポーツセンター、集会施設、各種教室などで様々なスポーツが行われています。ここでは公園でみかけた屋外スポーツだけですが、ご紹介します。

1 **ロ** **メ** **モ**
西淀川区内の大阪市営公園(令和6年4月1日)は53ヶ所(412,668㎡)あり、市内7番目/24区の大きさで、人口1人あたり4.29㎡(市内6番目/24区)です。グラウンドのある大きな公園から、遊具で遊べる身近な公園、それぞれでいろんなスポーツを楽しめます。



種目 フリケット

出来島の大和田川公園や淀川河川敷で、時々みかける「クリケット」。日本ではあまり馴染みがありませんが、世界では競技人口第4位、約3億人が楽しむ人気スポーツです。(参考: 1位バレーボール、2位バスケットボール、3位卓球、5位サッカー)。クリケットバットとクリケットボールを用いて1チーム11人で2チームが対抗する球技です。2028年ロサンゼルス五輪でオリンピック種目として実施されることが決まっていますので要注目です！



種目 Nスポ(にしよどスポーツ大会)

西淀公園グラウンドで、毎年秋に開催されている「Nスポ」。地域の子供達に運動の楽しさを感じてもらおうと3年前から、西大阪訪問看護ステーション・淀川ジュニアスポーツスクールホワイトナイツ・大阪防災企画・NPO法人くるるが共催で実施しています。2024年11月10日開催の第3回大会では、水納運び、パネル競技、中あて、防災クイズラリー、タグラグビー、リレーなど楽しく参加できるプログラムで90名ほどの子ども達が参加し、とても盛大なイベントとなりました。



調理後の油を

無料で回収します！

笑顔で回収いたします

50年以上の実績で、一滴残さず再び資源にリサイクル資源循環でSDGsに貢献します！



浜田化学株式会社 Hamada Kagaku

まずはお気軽にお電話ください！
TEL 06-6411-3457



@hamadagakaku

広告



はやし もとし
代表 林 基志さん

【住所】
大阪市西淀川区御幣島
2-5-25
【営業時間】
11:00~23:00



詳しくは
こちら▶

シックスマン バスケットボール ワークス



2024年1月に西淀川区御幣島に「ひとりでふらっと来られるバスケ好きのための空間」としてオープンしたバスケットボールジム。広くて高さのある場所を探していた代表の林さんが見つけた倉庫跡を活用、バスケットコートとトレーニング機材が揃った施設は大阪ではココだけ。区内外から、中学生から社会人まで多様な世代のバスケ好きが集まり練習し、時には会員同士でゲームをしたり、カフェで話したり、バスケットボールコミュニティが生まれています。

お薦めは、専属トレーナーによるレッスンが受けられること、またシューティングマシンを使って効率的な練習ができること。会員制のため時間を気にせず通えるのもうれしい。将来、ここで3×3バスケットの大会が開催できたら、と林代表。店内のカフェにコーヒーを飲みに来るのもオッケー。大型モニターでNBAの試合観戦なんて使い方もできるとか。



にしだ
代表 ロバート西田さん

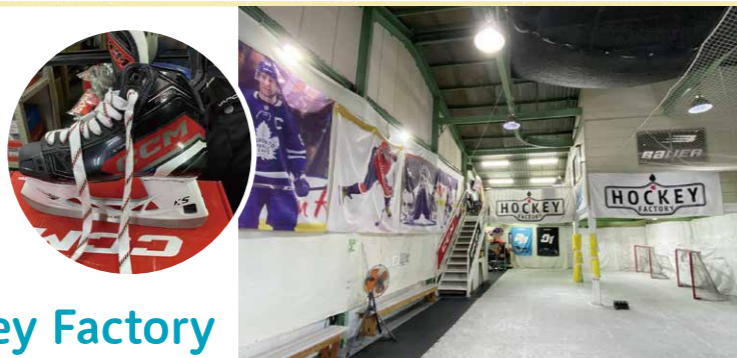
【住所】
大阪市西淀川区大野1-6-19
【営業時間】
●月-金曜日
11:00~21:00
(木曜日は休み)
●土曜日
9:00~19:00
●日曜日
9:00~21:00

個人練習、グループまたはプライベートレッスン、貸切利用等スケジュール・申込はFB、インスタ、Xより。



詳しくは
こちら▶

Hockey Factory



シンセティックアイスを使ったリンク・ジム・ショップを併設している、関西初アイスホッケー専用トレーニングセンター「Hockey Factory」は西淀川区大野の工場が立ち並ぶブロックの一角にあります。オーナーのロバート西田さんは、長野オリンピックのシーズンには雪印アイスホッケーチームでプレーしていた元プロ選手。出身のカナダ・トロント市ではアイスホッケーが盛んで市内だけで200ヶ所のリンクがあったそうです(コンビニより多い!)。一方、関西にはアイスリンクが少ない上に、練習する場所・教える人が少ないこともあり、子どもが一人でも練習できて、シュートなどのスキルを学べる場所として8年前に開設。尼崎や西宮のアイスリンクでも指導されているロバートさん曰く「ここで練習した子ども達が日本代表や海外リーグで活躍する選手となっています。アイスホッケーは一回やったらハマってしまう魅力がある。関西でホッケーを楽しむ人が増えてほしい」とのこと。

ポッチャコート創設時、大会の様子 /



大阪府立西淀川支援学校 ポッチャクラブについて

profile

1. 活動目的

- (1) 障がい者スポーツへの理解・関心を高めるための普及・啓発活動の推進
- (2) 余暇活動の充実
- (3) 地域とのかかわりを深め社会参加の促進

2. 活動日時

月2回(水曜日)、1時間程度

3. 活動場所

大阪府立淀川支援学校体育館

詳しくは
こちら▶



ご興味ある方は、
本校HPをご覧ください、
本校へ問い合わせください。

記:曾利誠二(大阪府立西淀川支援学校教諭)

創部当初は、本校児童生徒希望者のみ
の参加でしたが、ポッチャクラブに所属
していた卒業生の参加を促進。さらに、
学校と地域が連携・協働を推進していく
ようにという文部科学省からの提言を
踏まえ、西淀川区役所、西淀川区社会福
祉協議会の協力を得て、地域の方も参加
いただけるようになり、参加者が徐々に
増えています。
2024年3月には体育館にポッ
チャコート3面分のラインを入れ、常設
でプレーができるようになりました。同
月には早速、本校ポッチャクラブ部員の
家族チーム、卒業生チーム、地域住民
チーム、ニッセイ・ニュークリエーショ
ンチーム、西淀川区役所チーム、西淀川
区社会福祉協議会チームの9チームで
の大会を行いました。

大野川緑陰道路で タンDEM自転車に乗ろう



大野川緑陰道路を走る、藤江徹(あおぞら財団事務局長)と鈴木昭二さん(大阪でタンDEM自転車を楽しむ会会長)
撮影:永田和幸(WACOH)



profile

定期的な サイクリングイベント /

- サンデータンDEMの会
毎月第4日曜日
 - ウェンズデータンDEMの会
偶数月の第3水曜日
- 〈お問合せ〉
あおぞら財団 (06)6475-8885

詳しくは
こちら▶



前と後ろで力を合わせてごくタンDEM
自転車を見かけたことはありませんか?
パラリンピックの自転車競技では、視覚
に障がいのある人が後ろに乗って、競技
に参加しています。
今や、日本全国どこでも公道走行が可
能ですので、レジャーやリクリエーショ
ンだけではなく、生活の移動手段として
日常使いしている人もいます。西淀川区
では、大野川緑陰道路がタンDEM自転車
にとっても絶好のサイクリングロードと
して活用されています。
一人では自転車に乗ることができなく
ても、誰かと一緒だと自転車をこげる!
風をきって走る爽快感が気持ちよく、み
んなが笑顔になります。
あおぞら財団では「大阪でタンDEM自
転車を楽しむ会」の事務局として12年
間、この自転車の普及活動をおこなって
きましたが、新しい動きとして、定期的な
サイクリングイベントがボランティアの
みなさんに
よってはじ
まっています。
ぜひ、見
ているだけ
ではなく、
乗ってみて
ください。

新連載 \ キティが行く! /
第2回 西淀川ボランティア探訪記



Café ねおほ

毎月、最後の火曜日は「Caféねおほ」の日です。「西淀川子どもセンター」が運営しています。2022年6月から始めて、みなさまに支えられながら3年続いています。場所は御幣島の西淀川歌島橋郵便局隣の古民家「ねおほ」。主に地域の方の憩いの場になっています。スタッフは子どもセンターの土間部(おばちゃんチーム)6人で準備をしています。



ケーキセットは手作り500円。わたくしキティが試行錯誤しながら(時には失敗を誤魔化しながら笑)毎回2種類のケーキを焼いています。

月に1度のカフェを楽しみに、カレンダーに書き込んで来てくれる御幣島マダムスのみなさんやスタッフの友人など、時にはウクレレ演奏もあり、楽しいひとときを過ごせる空間になっています♪



Cafeねおほに是非いらしてくださいね!

子どもセンターの土間部で運営しています



地域の憩いの場

また、子どもたちの支援費にと手作り小物などの「ミニバザーコーナー」も常設しています。スタッフは子育て、障がい児支援等、様々な経験者が居るので、ほっこりした空間の中、悩みを相談する事もできます。

とても居心地の良い空間になっています。月に1度のカフェに是非いらしてくださいね!

Caféねおほ

毎月最終火曜日(12月除く)13~16時まで
開催場所:西淀川子どもセンター
大阪市西淀川区御幣島2-13-34



ながの みほ
長野 美保
息子がキティ好きだったことから愛称はキティ。西淀川おもちゃ図書館おもちゃばこ(現在は閉館)をはじめ、西淀川区内の様々なボランティア活動・市民活動に長年関わっています。

ディサービスセンター

あおぞら苑





あおぞら御膳 あおぞらの湯

【お問い合わせ】
TEL : 06-6475-0111 FAX : 06-6475-0114
URL : <http://aozoraen.com/>
運 営 : 社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日:月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日:月曜日~土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日25人

一筆 忙中



将来を担う子どもたちのために

地域との出会いが 私たちの原点

私はかつて大阪市西淀川区歌島に長く住んでいました。そのこともあり、淀川区や西淀川区で地域密着型のスポーツスクールをスタート。地域の未来を育む活動を目指しながらも、当初は地域とのつながりやなかなか持つことができず、模索の連続でした。転機は2021年、多田修さんから「しよどりリンク」に招待されたことでした。この機会を通じて、西淀川区役所の皆さまや地元企業、活動団体の方々とお会いすることができました。特に西淀川区役所の共創事業として、子どもたちに運動の場を提供しようという目的のもと、「子ども食堂くるる」「大阪防災企画」「西大阪訪問看護ステーション」「淀川ジュニアスポーツスクールホワイトナイツ」の4団体で協力し、2021年11月に「Nスポ(にしよどりスポーツ大会)」を初開催しました。このイベントは毎年10月または11月に行われ、今では地域に根付いた

恒例行事として親しまれています。さらに2024年6月には、西淀川区アンバサダーであるレッドハリケーンズ大阪、西淀川区役所と共に、「にしよどらグビーフエスティバル」を開催することができました。地域のつながりが生んだ新たな挑戦です。

スポーツスクールと 淀川河川敷姫島エリア

スポーツスクールを始めた頃、定期的に使える活動場所を見つけることは容易ではありませんでした。まず淀川区十三付近の河川敷を探しましたが、すでに多くの団体が利用しており、思うように場所が確保できませんでした。それでもあきらめず、少しずつ下流へと移動を続けました。そしてようやくたどり着いたのが、現在の姫島エリアです。そこには縦45m×横100mほどのスペースがありましたが、背丈を超える草木が生い茂る未整備の土地。しかし、地域の方々が草を刈り、木を抜き、私たちと一緒に整備を進めてくださったおかげで、グラウンドを完成させることができました。この協力はなしには、私たちの活動は実現しませんでした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちの未来を 育むために

私たちの活動理念は、スポーツを通じて子どもたちに希望と自信を持たせ、将来社会で活躍できる人材を育てることです。人生を豊かに幸せにするためには、困難に直面しても「自分ができる」と信じ、決して諦めない心が必要です。スポーツは楽しさが重要であると同時に、真剣に取り組めば、苦しい場面も必ず訪れます。そうした経験を乗り越えることで、子どもたちの心は大きく成長します。私たちは、その成長をそっと支える存在でありたいと考えています。

地域とともに未来へ

未来の日本を支えるのは、私たちの子どもたちです。その子どもたちが豊かに幸せな人生を歩むために、私たちは「スポーツを通じた人間力の育成」を使命とし、これからも活動を続けてまいります。最後に、このような機会をくださった「あおぞら財団」の皆さまに、心より感謝申し上げます。



横内 祥太(よこうち しょうた)

地域密着型スポーツスクール運営。(ラグビースクール、スポーツ万能を目指すアスレチックスクール) スポーツを通じて子どもたちの豊かな人間力を育てる。地域の子どもたちへ高齢者まで幅広く運動指導も行う。



淀川ジュニアスポーツスクール ホワイトナイツ



エコミューズ館長：小田康徳

公害裁判、提訴決断への道

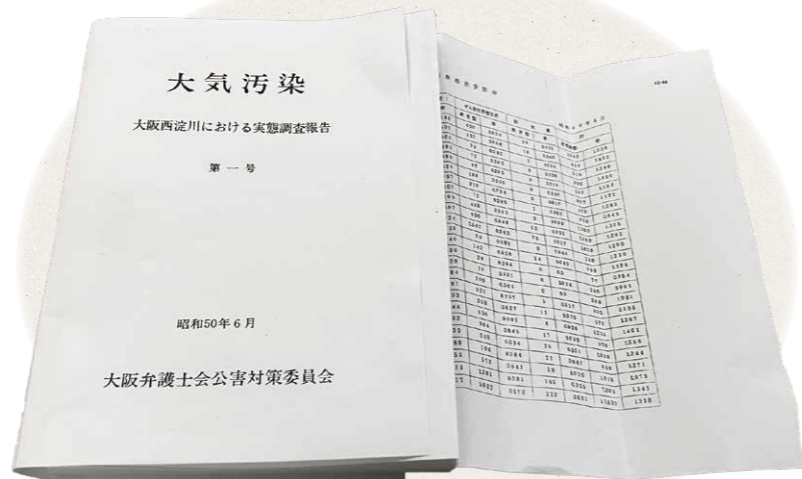
大阪弁護士会公害対策委員会の「実態調査報告」

1974年、大阪弁護士会公害対策委員会(委員長真鍋正一)は重点活動の一つとして西淀川問題小委員会を設置し、「人権擁護の立場から」大阪の大気汚染公害問題に取り組んだ。写真の冊子はこのときの調査成果で、1975年6月付け、『大気汚染—大阪西淀川における実態調査報告第一号』と名付けられた。9月には「公害健康被害補償法」(公健法)が実施されようとしていたときでもあった。

だが、大都市なかでもその周辺の工業地域に広がっていた都市型大気汚染公害の重大性は、それに取り組もうとする弁護士の間でも必ずしも十分には認識されていなかった。当時急速に会員数を増やしていた西淀川公害患者と家族の会(患者会。1972年10月結成)は、公害被害が生活の全側面にわたって被害者たちを苦しめていた実情や、補償が全くそれに見合っていないことに気づき、最低四日市公害判決(1972年7月24日)以上の補償を求めて運動を強めていた。こうした中、患者会は、大阪でも裁判でこの状況を打破できないかと若手弁護士たちに問いかけたのである。ちなみに、1969年12月制定の「公害にかかる健康被害の救済に関する特別措置法」(救済法)以来、公害認定患者数は増え続け、1975年5月26日現在では大阪市全体で6,030人、うち西淀川区は3,607人の多数を数え、さらに増えていた。言うまでもなく、大阪市の順位は日本第一を占め続けていた。

若手弁護士たちは個々の患者と会い、彼らの心の奥底にある悩みを聞いていく中で西淀川における大気汚染公害の被害の多面性、深刻さを知り、それを取り上げることの重要性を理解していった。彼らは裁判に踏み切れるための体制を固めるため、自分たちより大きな権威を持つ大阪弁護士会に対して前向きな見解を求めたのである。

「実態調査報告」はその要請によく応えている。しかし同時に、残された大きな課題、たとえば、古い都市型工業地帯における大企業の法的責任について試論を提起している。これは、大企業から中小零細企業までもが混じりあって、相互に複合化している都市型公害でこそ求められる追及の視点であった。西淀川公害では創造性にあふれた調査と研究が何より求められていたのである。



大気汚染—大阪西淀川における実態調査報告第一号

西淀川・公害と環境資料館エコミューズ利用のご案内



公害や西淀川地域に関する図書や、西淀川公害公害裁判資料、弁護団や患者会・住民運動などの写真や資料等を所蔵しています。ぜひ一度、お越しください。

◆利用案内 開館時間：月・金曜日 10:00~17:00
web: <http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>



西淀川公害を題材に「新しい人権」を学ぶ社会科の授業

今回は、西淀川区佃中学校で、西淀川公害を題材にして行われた社会科の授業を紹介します。担当されたのは近藤克樹先生。近藤先生は大阪市総合教育センター主催の研修で西淀川公害に触れ、「西淀川でこんなことがあったのか」と衝撃を受けたことが授業づくりのきっかけとなったそうです。



授業で使われた資料

● 学びのプロセス

授業は、3年生を対象に、11月21日に研究授業の一環として行われ、「新しい人権」の一つである環境権を学ぶ内容でした。使用された資料には、あおぞら財団の公害学習資料やエコミューズのパネルなどが活用されています。

| | |
|--------------|--|
| ①公害クイズ | クイズを通じて、四大公害病や西淀川公害に意識を向ける。 |
| ②資料分析 | 資料をみながら、公害問題が全国各地で発生した理由を理解する。 |
| ③地域の変遷を分析 | 「今昔マップ」を使って、佃中学校周辺が農耕地から工場、住宅地へと変遷した様子を読み取り、グループで発表。 |
| ④被害住民の視点に立つ | 西淀川公害に関する写真や作文等を読み、被害を受けた住民の状況を理解する。 |
| ⑤公害と人権について議論 | 公害によって失われる人権について話し合う。 |

● 未来に向けた学びに

授業の前後に生徒たちが書いた「20年後の西淀川区の将来像」のミニレポートを見ると、授業後には「公平で差別のない町」「公害がなく、みんなが幸せに暮らせる町」、「SDGsを踏まえた持続可能な社会」といった意見が増えており、学びが具体的なビジョンに繋がっていることがわかりました。

近藤先生は、授業のねらいを「持続可能なまちづくりを進めるためには、住民の人権が十分に保障されることが重要であることに気づき、具体的方法を表現することができる」としています。西淀川公害が生まれた背景を学び、公害被害住民の視点に立つことが、生徒たちが「未来の主権者」としての資質を涵養するのに役立てることができたのではないかと思います。

佃中学校 近藤克樹先生のコメント

西淀川公害は、地域の問題に根ざしながら、新しい人権である環境権について学べる教材です。公害を学ぶことで、他の人権問題も同じ構造になっていると気づくことができます。

社会科の本質は「公民的な資質・能力」を育むこと。この授業で、生徒達に社会科の重要性や面白さが伝わったと手ごたえを感じました。



医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中!

～「いのちの平等」をめざして～
差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

- ・西淀病院
- ・のぞと診療所
- ・千北診療所
- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ
- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

WHO認証

「地域健康増進支援事業所」
認証施設

看護師・
介護職
募集中!



公益財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp

ありがとうございます

(2024年8月~2024年11月 敬称略・順不同)

●お助け
ボランティア
左成 志朗
MOKU
渡辺 哲敬

香川 雄一
片岡 直樹
一二産業株式会社
鎌形 浩史
川野 達雄
功刀 恵美子
kent

●寄附・寄贈者

あおぞら市の皆さん
新井 真
一般社団法人
大阪ファルマプラン
内田 寛
奥村 昌裕

澤田 佳宏
島 正之
清水
大門 信也
谷 智恵子
津留崎 直美
TK.Nara

中村 昌史
西淀川区民まつり
寄付者ニックネーム Y
新田 保次
細野 宏
松村 暢彦
松本 嘉子
みたか
宮本 由貴
宮本 憲一
MOKU
山岸 公夫
吉田 巖
山崎 光信
傘木 宏夫
小林 啓
山崎 義郷
他 匿名 1名

あおぞら財団 寄附のお願い

日ごろよりあおぞら財団の活動にご支援とご協力を賜りありがとうございます。みなさまからの大切な寄付を私たちの活動に役立ててまいります。

●西淀川公害がわかる資料集をつくります!

いま、エコミューズでは資料を改めて調査し、公害の形成、その中での生活の姿、裁判を中心とする患者の活動を蘇らせようと、基礎的な資料集の作成に取り組んでいます。どうぞみなさまの寄付によってこの活動を支えてください。

●オンライン寄附サイト Give One(ギブワン)

お振込み以外にも、オンライン寄付サイト「Give One」からはクレジットカード決済での寄付も可能となっております。ぜひ、ご利用いただけますと幸いです。

<https://giveone.net/>

クレジットカード決済・ページをお選びいただけます。「あおぞら財団」で検索してください。



編集後記

藤 普段、見かける風景から今回の特集を思いつく。とはいえ、写真を撮っていない。というわけで週末、自転車漕いでウロウロ、道端で声かけて協力依頼。新たに教えていただいた施設にも初めて訪問。なんやかんやで、にしよどがわ再発見。

りべら No.167 2025年2月号(年3回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:藤江 徹
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
<http://aozora.or.jp/> webmaster@aozora.or.jp

デザイン:(株)バード・デザイン/ハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あおぞら財団
Facebookページ
「いいね!」を
押してくださいね。



スタッフから一言

大学院の先生からご紹介いただき、今年度から主に資料集編集関係のアルバイトをしております。これまで私にとって公害は教科書上の出来事でしたが、公害についての史資料を実際に見ることで、当時の被害の大きさと日々の生活の大変さを強く感じるようになりました。「みてアート」では公害の様子を写した写真を見て驚かれる方も多く、この公害の歴史が忘れられないように引き継いでいくことが大切だと思いました。公害についてまだまだ知らないことも多いですが、公害の実態を伝えていくお手伝いができるよう、これからも頑張ります。



おおしま みなこ
大阪公立大学 大島 美奈子

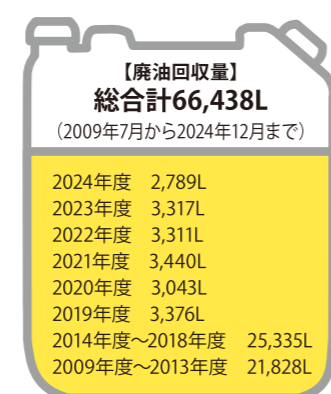
「りべら」に広告を掲載しませんか?

年3回発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。

【りべら広告掲載費】

中面1/9頁: 1万円/回、中面1/3頁: 3万円/回、中面 全面: 9万円/回
※お問合せ先:あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト
~エコでつながる西淀川~



現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局:浜田化学株式会社
06-6411-3457

廃油回収先拠点は
こちら▶



広告



ぜん息・COPDに関する 電話・メール相談室

環境再生保全機構が運営する「ぜん息・COPD電話相談室」は「ぜん息・COPD」に特化した内容を無料で相談できるものとなっており、全国から毎年1000件近くの相談を受けています。

今使っている薬やこれからの治療など、ぜん息、COPDに関する心配ごとやお悩みごとについて、専門医と看護師や保健師がお答えします。ご本人様はもちろんご家族の症状まで、どなたでもお気軽にご相談いただけます。

電話だけでなくWebでの相談もできますので、ぜん息やCOPDについて疑問や不安に思っていることなどがありましたら、ぜひ一度ご相談ください。



フリーダイヤル: 0120-598014 (こきゅうはい~よ)

受付曜日・時間: 月~土曜日(祝日・年末年始を除く) 10:00~17:00

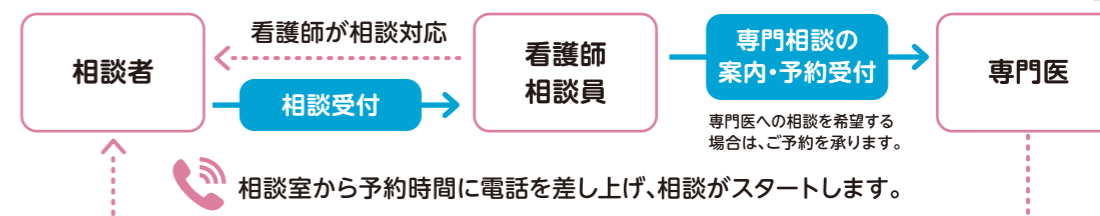
ぜん息・COPDに関する電話相談室

小児ぜん息・成人ぜん息・COPDの専門医や看護師が無料でお答えします。

ぜん息・COPDに関する心配ごとや悩みごとについて、電話やメールでご相談いただけます。専門医による電話相談日はホームページ等でお知らせしております。あらかじめ電話で予約をお取りいただくと、専門医相談日の予約時間に相談室からお電話いたします。



相談の流れ



詳しくは ぜん息 電話相談 | 🔍

またはこちらから

<https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/service/tel.html>



環境再生保全機構は、環境問題に幅広く対応するための政策実施機関として設立された環境省所管の独立行政法人です。

環境再生保全機構では **様々なパンフレットも全て無料で配布しております**。提供しているパンフレットの一覧はホームページからご覧いただけますので、少しでも気になるパンフレットがあればお電話もしくはホームページからお申込みください。

<https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/index.html>



独立行政法人 環境再生保全機構 TEL:044-520-9504(予防事業部代表) <https://www.erca.go.jp/>